

星に降る音

米司花音

雷がいくつも落ちてきました

そのあとに大きな雨が降ってきて

空は茶色く濁り、川も同じようにぐるぐると

蝉の声を上回る大きな音が地上を満たすと

騒ぎを聞きつけた夜が急に顔を覗かせて、楽しそうに人々を呑み込んでいきま

す

キー、キーとブレーキの音

窓外を眺めながら、為すすべもなく、わたしは揺られていて

ドアが開く、また閉じる

流れ込んで、閉じ込められた空気に線香の匂いが混ざりました

庭先に残る灰の跡

冷たい御影石への恋しさ

花火の落ちていく時間

荒れ狂う海の震動

灯台の光に焼かれるカモメの眼

モールス信号をわたしは解しませんから

掌に光の弾ける感触を楽しみに

鮮やかな緑濃く蔽い茂る黄金の丘を目指しましょう

眼下の夕陽に染め上げられた街に

思わぬ鋭い風が吹くものですから

細かい砂が月から落ちてきて

いとも簡単に、すべてが埋もれてしまいます

どうしよう

こんなにも淋しくて悲しいのに

こんなにも暑くて苦しいはずなのに
いまではこの音を、とても穏やかな気持ちで聞いています